

都市システムインターンシップ(Off-Campus Practical Training)

担当教員名	C 全	
学科・専攻, 科目詳細	都市システム工学科 4年 通年 1単位 実習	
学科のカリキュラム表	専門科目 選択科目	
共生システム工学の科目構成表	専門工学科目 実務系	
学習・教育目標	共生システム工学	E-1(40%) G-2(60%)
	JABEE基準1(1)	(d)(f)(h)
科目の概要	主として都市システム工学・土木工学関連の一般企業、官公庁、大学および非営利法人等での就業体験を通じて、技術者としての在り方を学び、就業体験で得た成果を学習に活かすことが本科目の狙いである。実習期間は実働日数5日間以上とする。実習の事前指導（マナー教育、実習先の下調べ）、事後の報告会、関係機関に配布する報告書の作成までを都市インターンシップに最大15時間を含めることができ、総時間数を45時間とする。	
テキスト(参考文献)	なし。	
履修上の注意	インターンシップ実施要綱を熟読し、インターンシップ担当教員と緊密に連絡を取り合うこと。期間中は、積極的に技術等の習得に努めるとともに、服装、言葉使い等、インターンシップ生に相応しい行動を心がけること。	
科目の達成目標	実習先での実践的技術感覚を体得し、その成果を学習に活かすことが狙いである。目標は以下の通りである。 (1) 実習先の企業等で協調的に活動し、実際の技術活動の一部を体験すること。(G-2) (2) 体験的に学んだ事柄について視聴覚教材などを用いて、効果的に報告できること。(E-1)	
自己学習	各実習先で与えられる演習レポート、報告書の作成	
目標達成度(成績)の評価方法と基準	合格の対象としない欠席条件(割合)	その他
	達成目標(1) は次の2 点で評価する。 ・実習先から提出される「インターンシップ証明書」を参考に30 点満点で評価する。 ・インターンシップ生が提出する「インターンシップ報告書」の内容により30 点満点で評価する。 達成目標(2) は次の点で評価する。 都市システム工学科インターンシップ報告会での報告内容を40 点満点で評価する。 以上の総合点が60点に達した場合に単位を与える。	
連絡先	takeda@akashi.ac.jp	

授業の計画・内容	
第1週	ガイダンス 履修上の注意・実習先でのマナーなどの注意点
第2週	実習 実習先における個別の就業体験
第3週	実習 実習先における個別の就業体験
第4週	実習 実習先における個別の就業体験
第5週	実習 実習先における個別の就業体験
第6週	実習 実習先における個別の就業体験
第7週	実習 実習先における個別の就業体験
第8週	実習 実習先における個別の就業体験
第9週	実習 実習先における個別の就業体験
第10週	実習 実習先における個別の就業体験
第11週	実習 実習先における個別の就業体験
第12週	実習 実習先における個別の就業体験
第13週	実習 実習先における個別の就業体験
第14週	実習 実習先における個別の就業体験
第15週	インターンシップ成果報告会 実習成果の総合的な発表
期末試験実施せず	

授業の計画・内容
第16週
第17週
第18週
第19週
第20週
第21週
第22週
第23週
第24週
第25週
第26週
第27週
第28週
第29週
第30週
期末試験実施せず